

磷脂質への取込み低下を示し、以後同様であり、一方血中では逆に磷脂質での取込みが増加した。脂酸については、モノ不飽和脂酸への取込み減少等が明らかであった。以上によりステロイドにより脂質合成は低下する反面血中よりの脂質の除去は遅れていると思われる。なお他の前駆物質についても検討した。

65. 唾液腺の炎症時の Tc-99m スキャン像について

日本歯科大学 放射線科

○古本 啓一 隅田 能敬 関 孝和

われわれは今まで唾液腺の Tc-99m スキャン像について報告しているが、今回は唾液腺スキャンの炎症像について分類したので報告する。分類にあたっては、まずス

キャンの最適条件を定め、この条件でえた photoscan 像について、さらにカラー・リー・スキャンを行なった。分類の評価は、安静時像と、1/4 酒石酸刺激後のシンチスキャン像について、両者の各唾液腺の Tc-99m の量的変化、形態的变化について検討した。なお、口腔内に流出した Tc-99m についても参考とした。

正常唾液腺像は安静時、positive、刺激後は negative であるが、炎症時のスキャン像は以下の 3 群に分類した。

- 1) 安静時、刺激後共に negative 群、
- 2) 安静時、刺激後共に positive 群
- 3) 安静時、negative 刺激後 positive 群である。この分類に基づき、唾液腺炎症の慢性、急性炎症の程度の臨床的評価について報告する。